

# 静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2009年4月2日

## 「平成21年1～3月期中小企業景気動向調査」調査結果報告 －1～3月期業況判断指数は過去最低水準。4～6月期売上額は改善予想－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成21年1～3月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

### 1. 調査概要

調査対象 遠州信用金庫、浜松信用金庫の取引先 636 社  
調査方法 調査表による面接聴取法  
調査時期 平成21年3月1～5日  
回収状況 回収数 614 社（回収率 96.5%）

### 2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

#### ① 平成21年1～3月の業況について

業況DIは全産業ベースで-73.4となり12月の前回調査（-56.0）から17.4ポイントの悪化。悪化は5四半期連続。記録がさかのぼれる平成4年9月以降で最低の水準となった。

#### ② 平成21年4～6月期の見通しについて

業況DIは2.2ポイント悪化の-76.0と下げ止まり感がみられる。売上額DIは16.1ポイント改善し-51.8となりわずかながら明るい兆しが見え始める。

#### ③ 業種別の動向

不動産業を除く全業種で業況が大幅に悪化している。

業種	業況DI（前期→当期）	動向
二輪部品製造（58社）	-64.9→-94.7	業況DIは過去最低の数値を2四半期連続で更新。人手・設備の過剰感が急速に高まる。
自動車部品製造（69社）	-69.6→-98.6	業況DIは-98.6と全産業中最も悪い水準。回答企業69社中68社が「悪い」と回答。
機械部品製造（64社）	-53.1→-81.2	原材料価格は下降に転ずるも、それ以上に売上の落ち込みが大きい。
楽器部品製造（18社）	-63.1→-77.8	主要判断指数は極めて低い水準であるが落ち込み幅は二輪車、自動車、機械より小さい。
繊維製造（27社）	-59.2→-77.7	主要判断指数は軒並み悪化。経営上の問題で「地場産業の衰退」を挙げる企業が目立つ。
卸売業（86社）	-58.6→-73.2	主要判断指数は軒並み悪化するも製造業と比較すると落ち込み幅は小さい。
小売業（68社）	-42.6→-44.1	業況DIは-44.1と低い水準であるが全産業中最も高い数値。
建設業（73社）	-51.3→-63.0	主要判断指数は軒並み悪化し厳しい状況が続く。材料価格は5年半振りに下落に転じる。
不動産業（38社）	-50.1→-47.3	業況DIは改善するも一時的なものにとどまる。地価下落傾向が鮮明になっている。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 富野

TEL 053-452-1510